左甚五郎　年表　　本名：伊丹利勝

西暦	元号		甚五郎年齢	美弥年齢	歴史上の出来事／史実として伝わる左甚五郎の事績	作中の出来事
1594	文禄	3	1		足利家臣・伊丹左近尉正利を父として播磨国明石で誕生（紀伊国根来東坂本との説もあり）	
1595		4	2			
1596	慶長	1	3			
1597		2	4			
1598		3	5			
1599		4	6			
1600		5	7		父と死別、叔父の飛騨高山藩士・河合忠左衛門宅に寄寓	
1601		6	8			
1602		7	9			
1603		8	10			
1604		9	11	1	徳川家光生誕	
1605		10	12	2	徳川秀忠 将軍位につく	
1606		11	13	3	伏見の禁裏大工頭領・遊佐法橋与平次の弟子となる	
1607		12	14	4		
1608		13	15	5		
1609		14	16	6		
1610		15	17	7		
1611		16	18	8		
1612		17	19	9		
1613		18	20	10		
1614		19	21	11		
1615	元和	1	22	12		
1616		2	23	13	徳川家康死去、駿河久能山に埋葬	
1617		3	24	14	日光東照宮に改装	

西暦	元号		甚五郎年齢	美弥年齢	歴史上の出来事／史実として伝わる左甚五郎の事績	作中の出来事
1618	元和	4	25	15		
1619		5	26	16	江戸に下り、将軍家大工頭・甲良宗広(46)の女婿となって堂宮大工頭領として名を上げる	
1620		6	27	17		後水尾天皇に召し出され、竹の水仙を献上し「左官」の職を授かる
1621		7	28	18		
1622		8	29	19		甚五郎と美弥、結婚する。稲葉長門守に脅されて龍を彫る
1623		9	30	20	徳川家光 将軍位につく(20歳)	
1624	寛永	1	31	21		1月：甚五郎、不忍池の弁天堂に願掛けをして彫物に命を宿す秘術を授かる。 5月：美弥と甚五郎、山鳥屋に泊まり雉子を彫る
1625		2	32	22	寛永寺建立	1月：寛永寺鐘楼　水飲みの龍完成 3月：美弥病気にかかる 4月：美弥死去、像に憑依して逃亡
1626		3	33			6月　物語開始
1627		4	34			
1628		5	35			
1629		6	36			
1630		7	37			
1631		8	38			
1632		9	39		甲良宗広、作事奉行創設に伴い作事方大棟梁となる、徳川秀忠死去	
1633		10	40			

西暦	元号		甚五郎年齢	美弥年齢	歴史上の出来事／史実として伝わる左甚五郎の事績	作中の出来事
1634	寛永	11	41		江戸城の西の丸地下道の建設に加わるが秘密を守るため命を狙われ、讃岐高松藩主の生駒高俊のもとに亡命。老中土井利勝のはからいで死んだこととされた。 東照宮の寛永の大造替が開始	
1635		12	42			
1636		13	43		甲良宗広、日光東照宮の造替完成を機に隠居・剃髪	
1637		14	44			
1638		15	45			
1639		16	46			
1640		17	47		京に戻り、師の名を継いで禁裏大工頭領を拝命	
1641		18	48			
1642		19	49		高松藩の客分頭領となる	
1643		20	50			
1644	正保	1	51			
1645		2	52			
1646		3	53			
1647		4	54			
1648	慶安	1	55			
1649		2	56			
1650		3	57			
1651		4	58		左甚五郎死去、徳川家光死去	

関連リンク　http://www.hakaishi.jp/tomb/tomb/06-13.html
https://kaneiji.jp/about#gsc.tab=0
水飲みの龍　https://www.hidanokagu.jp/hidanotakumi/archive-about/takumi05-details_no58.html